

## 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻ポリシー

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）DP

本専攻が目指すところは、本学の人材育成方針に則り社会に求められる臨床家、理学療法士を育成するところにあり、その具体的な要件を示す。

- ① 理学療法士国家試験に合格できる知識及び思考力・判断力を修得している（専門知識・技術）
- ② 理学療法士として臨床的問題解決に必要な知識・技能、思考力・判断力を身につけている（専門知識・技術）
- ③ 理学療法士として対象者のために自身は何ができるのかを全力で真摯に考える態度、すなわち献身的、共感的態度が備わっている（献身・共感）
- ④ 理学療法士として探求と創造の姿勢を持ち、自ら学び、学ぶ意義を対象者の中に見出すことができる（自負・創造）
- ⑤ 対象者の問題解決に向けて、必要に応じて多様な人々と主体性を持って協同して学ぼうとする態度とコミュニケーションスキルを身につけている（傾聴とコミュニケーション）

### 5. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）CP

ディプロマポリシーに示された要件を満たす理学療法士を育成するため、履修系統図に示すような段階的、階層的学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- ① 知識や技能の修得にあたっては段階的・階層的に学べる編成とする（DP1、2）  
編成の実際は教育課程に示すとおりであり、教授に当たっては学修を促す適切な教育技法を取り入れる。
- ② 実習や演習を講義科目と連携できるように配置し、知識と技術を促す実学重視の科目配置とする（DP1、2）
- ③ 確実な学修を促すために、各科目の必要性を明確にするとともに各段階における個々人の修得状況を把握する（DP1、2）
- ④ 学外での臨床実習にあたっては段階的な学びの機会となるように配慮する（DP1、2）  
実習目標のみではなく、指導者についても帯同教員による指導を主とした体制に始まり、学外の指導者を中心とした指導体制に移行するような段階的編成とする。
- ⑤ 本専攻が目指す人材を育成するためには、国家試験に合格し資格を有することが前提となるが、各科目において早期より国家試験を意識した授業展開とする（DP1）
- ⑥ 自らの学びを促すためアクティブラーニングの機会を適宜設ける（DP4）  
自ら希望する施設の見学や社会貢献活動への参画など適宜学外での自主活動の機会を提供する。
- ⑦ 主体性を持って多様な人々と協働し学ぶ態度を育むため、早期よりグループ学修や学年を超えた学修の機会を設ける（DP3、5）

※DP とは、ディプロマポリシーを示す。